

## 第16回新得町地域公共交通活性化協議会

【開催日時】 平成28年6月21日（火） 午前10時00分～午前10時35分

【場 所】 新得町役場3階 大会議室

### 【出席者】

所属団体名等	役職	氏名
新得町	副町長	田中 透嗣
帯広開発建設部道路計画課	上席道路計画専門官	美馬 大樹
北海道拓殖バス株式会社	営業課長	小森 明仁
新得ハイヤー有限会社	社長	石畑 政俊
北海道旅客鉄道株式会社新得駅	駅長	小野寺 康弘
十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	副議長	高橋 俊朗
新得町商工会	会長	湯浅 悟史
屈足商工振興協議会	会長	竹浦 隆
新得町観光協会	会長	清水 輝男
新得町女性団体連絡協議会	会長	中井 由利子
すこやかクラブ		銘形 俊雄
報徳クラブ	会長	管野 益二郎
サホロクリニック	事務長	若林 尚
北海道運輸局 帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	頼本 英一
北海道運輸局 帯広運輸支局	運輸企画専門官	藤本 広記
新得警察署 交通課	課長	伊達 辰幸
十勝総合振興局地域創生部地域政策課	主査	小松 潤史
新得町地域戦略室	室長	佐藤 博行
新得町地域戦略室	係長	東川 恭一
新得町地域戦略室	主任	角谷 俊明

### 【議事録】

1. 開会
2. 会長挨拶 【田中副町長】
3. 新委員の紹介

#### 4. 報告事項

- 【角谷主任】 <報告第1号説明>  
【田中副町長】 「報告第1号について、質問や意見ございますか。」 <質疑なし>  
【角谷主任】 <報告第2号説明>  
【中井監事】 <監査報告>  
【田中副町長】 「報告第2号について、質問や意見ございますか。」 <質疑なし>  
【角谷主任】 <報告第3号説明>  
【田中副町長】 「報告第3号について、質問や意見ございますか。」 <質疑なし>

#### 5. 議事

- 【角谷主任】 <議案第1号（計画本文）説明>  
【拓殖バス】 <議案第1号（収支計画）説明>  
【田中副町長】 「議案第1号について、質問や意見ございますか。」 <質疑なし>

#### 6. その他

- 【田中副町長】 「事務局からお知らせ等ありますか。」 <なし>  
「皆様からご意見等ございますか。」
- 【銘形氏】 「初めて会議に参加させていただき雰囲気がかめておらず、このような膨大な資料に目を通して急に意見を出すのもなかなか難しい。コミュニティバスの利用状況を見させていただいたが、利用者がこんなにたくさんいるのかと感じた。コミュニティバスを見かけても乗車しているのは1人か2人、空の状態で走っていることを見るため、このまま運行する必要があるのかと感じていた。
- これだけの人数が乗車しているのであれば、このまま続けて欲しい。私たち、すこやかクラブの会員もこれからお世話になる年齢であり、買い物や通院のため利用することとなるが、例会があった際にコミュニティバスの利用者の方の意見を聞く機会があつて2、3人から聞いたが、いずれも良い発言がなかった。利用してみて有難味はあるのだけれども、不便だという話であつた。具体的には聞いていないが、例えば西から東に行くルートでの分岐点、新得駅での待ち時間が長いということと、行きは良いが帰りが利用できないという話だつた。
- これから地域の課題であるとかを集める機会があるのか、あるのであれば皆さんの意見をもう少し集約して持っていきたいと思う。初めての参加でよくわからないが、今の印象とお願いとして申し上げる。」

【田中副町長】 「私も東に走るバスを見て少ないなと思っていた。屈足から市街地までだとか、西から東に向かう人は若干多いのかなと、皆さんと同じ印象を持っている。すこやかクラブの中でも実際に利用されてきた意見はこの会議に限らず、担当までいつでも話をさせていただければ。改善できるところは改善していきたいと思うので、よろしく願います。」

【佐藤室長】 「一つご理解いただきたいのが、色々な要望があるなかで、現在バスは1台で運行している。東側が少ないということで東側の方が利用する機会が少ないのかなと思うが、西側の方が東側の施設を利用する場合に寄らなければならない。降りた場合に帰りに拾わなければならないという事情もあります。乗降数が多いのは資料にもあるとおり駅前で、屈足の方が降りるのも駅前。西側の方が降りるのも駅前。合間にある東側にあまり流れていないという印象があるが、実際はこれだけ利用されているということです。」

バスの運行する時間も色々合わせて欲しいという要望もあるが、コミュニティバスの一つの意義というのが、フィーダー系統、幹線の路線バスに接続する、あるいは鉄道に接続するという役割があります。この役割があるがゆえに接続の計画をもって補助金の申請を行うというシステムになっている。よってその時間に合わせるということが一つと、その回る時間に合わせて、様々な活動の時間にも合わせるという配慮をして現在運行しているが、なにせ1台で運行しているため、色々な分野からの要望があっても、なかなか全てに応えることができないという状況です。そのため、要望の内容によってコミュニティバスではない、別の手段による対応を考えなければならないとも考えております。

それから、なごみでサロンをやっている方で足の悪い方がいる。公民館とけいら整形外科に寄るルートを、なごみにも寄るルートとしたが、それは運行時間とルートの範囲内で対応できたものだったので対応できた。サロンに終わる時間になごみに寄って回るというルートも設定したので、今の運行状況の中で対応できるものは対応していきたいということですので、ご理解いただきたい。

運行が開始して3年が経過しようとしている。この3年の間でコミュニティバスの運行がどうだったのかということの評価しようとしているが、その中であまりにも乗車が少ないバス停については省略して効率の良い運行をしていきたいと思うのでよろしく願います。」

- 【銘形氏】 「1台で回している中で、町が色々考えているのはわかる。この場でなかなかこの手の話は出来ないと思うので、後日、皆さんとお話しをしてよく検討して、ルートの変更ができればして欲しいという人もいましたし、ほとんど停まらない町内会もあるのではという意見もありましたし、機会をみて伺いたいと思いますのでよろしく願いします。」
- 【佐藤室長】 「ぜひご意見をお寄せください。」
- 【銘形氏】 「開発の方がみえられているので一つお願いがある。以前から提案しているが、国道38号線にかかっている新栄橋の土手の右手、下流に向かって流れが急で水の量も多くて深い。そこに護岸があるが佐幌川の流れて押し込むようでとても危険な場所がある。今は草木が生えているが、冬の裸になったときに見てもらえればわかるが、もし足を滑らせれば下まで行ってしまうようで危険。できれば危険を知らせるようなロープを張るなりすれば多少防げらると思う。町にお願いはするが、行ってみただけでもという話はあるが、私としてはとても危険に感じるのをお願いしたい。」
- 【田中副町長】 「佐幌川の河川管理は開発の方ではない。その件は道の担当の方に話をしておきます。」

## 7. 閉会

以上